

関口 明子 (岐阜県)



『失われた刻』

生きて枯れる者たちの喜びや悲しみを描きたいと思っています。

谷岡 君枝 (神奈川県)



『ひと』

描きたいものを感じたままに描きたいと思っています。対象から感じる色を大切にしています。また「たった今、を捉えられたらと欲張りなことを願っています。

富川 幸子 (富山県)



『祈り』

アフガニスタンからアメリカが撤退した時に描き始めた絵です。助けのメッセージを送っても届かない声、でも届けなければならない。その様な事を考えながら描きました。

中浦 眞一 (大阪府)



『それぞれの部屋』

地中では何かうごめいている。そこから立ち上がったこの世は、移ろう夢のようなもの。そして、みなそれぞれの部屋で自分の夢を見ている。そんなイメージを描いてみました。

八島 儒子 (京都府)



『植物』

コロナ禍で人間が不安の中でうろたえています。いつも変わらぬ静かに存在する植物の美しく在る姿を表現できたらと思っています。

渡辺 光江 (福島県)



『BA-NA-NA』

7年前にチェンマイでバナナの花に出会った遠い昔、初めて口にしたバナナは美味だった。忘れがたい記憶と感動を思いモチーフにしている。私の年齢バシタかな？

